

# タイヤのパンク修理、 空気充てん時の事故にご注意!

死亡事故発生

過去5年間で、90件のタイヤ空気充てん作業時の事故(ヒヤリ・ハットを含む)が確認されており、今年は既に2件の死亡事故が発生しております。特にタイヤのパンク修理作業とそれに伴う空気充てん作業には、十分な注意が必要です。

空気充てん作業時の事故概要(2005年~2009年)

事故原因	件数	被害状況		
		死亡	重・軽傷	被害なし
引きずり痕の見落とし (パンク走行等に伴うコード疲労を含む)	49	0	32	17
作業不適正	20	4	13	3
高圧充てん	9	0	7	2
不良リム等	3	0	3	0
タイヤとホイールの誤組み	2	0	2	0
チューブ噛み	0	0	0	0
その他	5	0	4	1
原因不明	2	0	1	1
計	90	4	62	24

過去5年間で90件。  
そのうち  
**引きずり痕の  
見落としが  
54%**  
(49件)  
(パンク走行等に伴うコード疲労を含む)

## 要確認

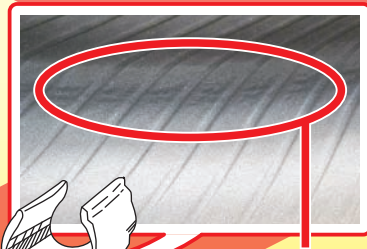
パンク箇所確認時及び  
タイヤ修理時は、必ず  
**タイヤをリムから外し、  
引きずり痕の有無を確認  
しましょう。**

## タイヤ内面及び外面の点検を厳守してください

**1** 引きずり痕が確認されたタイヤ  
絶対に再使用しないでください。

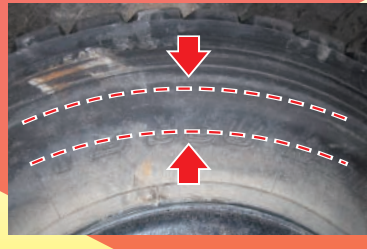
**2** 引きずり痕が確認できないタイヤ  
引きずり痕が確認できない場合でもタイヤのコードが疲労している場合があります。必ず使用者からパンク状態での走行期間・距離を確認したうえで、再使用の可否を判断してください。

**特徴①**  
タイヤ内面に  
黒い擦れ跡・シワ・亀裂がある。



内面のシワ(例)

**特徴②**  
タイヤ外面に  
シワや路面等との擦れた跡がある。



サイドウォール部の擦れ(例)

## 空気充てん作業時の遵守事項を確認し、作業に当たってください

**1** 空気充てん作業者は、必ず特別教育を受講

**2** 安全囲い等飛来防止器具の使用

**3** エアコンプレッサーの圧力調節弁の調整

タイヤの使用空気圧区分(kPa(Kgf/cm <sup>2</sup> ))	調節弁の最高調整空気圧(kPa(Kgf/cm <sup>2</sup> ))
400(4.0)まで	500(5.0)
400(4.0)超~600(6.0)まで	700(7.0)
600(6.0)超~1,000(10.0)未満	1,000(10.0)

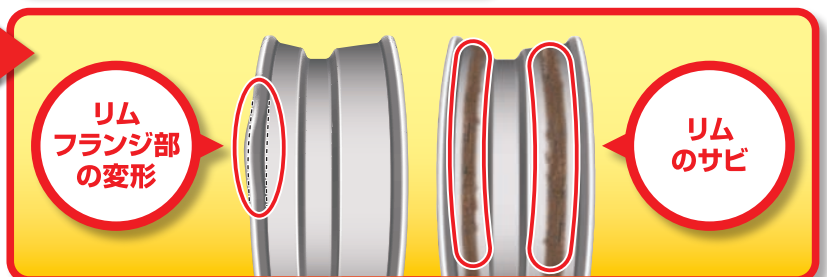
**4** ビードシーティング圧300kPaの厳守  
(TB、LT、PC用タイヤの場合)

**5** リムのサビ、フランジ部の変形に注意

**6** コア無し充てんの禁止

**7** ヘルメットの装着を推奨  
(パンク修理後のTB用タイヤの空気充てん作業時)

- パンク修理したタイヤは、コードが疲労している場合がありますので、空気充てん後5分以上を目安として安全囲い内で破裂しないことを確認してから車両に取付けてください。
- 空気充てん時タイヤサイドウォール部からの異音(プチプチ音等)が聞こえたら、ただちに作業を中止し、避難してください。
- 空気充てん中は、タイヤサイドウォール部の正面から身体を避けてください。



\*①~③は、労働安全衛生法及び規則等で定められた事業者・作業者の責務です。